

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国関係  
（議員等発言(2)（講演、記者会見等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840</a>

ケ、又上院議員内話(昭四四・三・十)

ソビエト連邦  
ソビエト連邦

注意  
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

電信写

- 大政事外外官
- 事務次官
- 大臣官舎警備長
- 儀衛文会警備
- 参入電厚計
- 参調祈
- 参領旅移
- 参北東経
- 参中西経
- 参北北(9)
- 参一三
- 参西東洋
- 参西東
- 参近ア
- 参総経国万
- 参領経三
- 参政経二
- 参一理
- 参参領規
- 参政経科
- 参社専
- 参道内外
- 一一

総番号 (T A) 69年3月10日 19時25分 ワシントン 主管  
 69年3月11日 09時40分 本省 発着 東北

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん問題 (内話)

第705号 極秘 至急

往電第682号に関し

10日クリンオード・ケース上院議員(共和、外交及び歳出委員会メンバー、ニュージャージー)がキウチに語るところ次のとおり(コーンズ秘書同席)。

日本の世論がオキナワ返かんについてどの程度エモーショナルになっているのか短期滞在の自分には判断しかねた。一般国民の対米感情はよく、これ以上日本側に注文をつけるものは何もないのではないかと好印象を受けて帰国した。しかし、経理をはじめ各政党の領しゆうにあつて、オキナワ問題を解決しなければならぬこともよくわかつた。年内にでも経理が訪米されて本件につき決着をつけられることが日米関係の先行きために好ましいことだと思ふ。返かんの時期、基地の態様については日米両国政府間で交渉決定すべき事がらである。

(キウチより、日本国内には、いずれヴィエトナム紛争も決着がつくものとして、極東情勢の先行きに関し、中共は

外務省

注意  
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

電信写

内部的に混乱を重ねており、ソ連はチエコ、東独に主たる関心をうばわれ、加えて中ソ対立が激しいため、先行きをらつ監視する向きが多く、いきおい「本土なみ」の主張に示されるとおりオキナワ基地の重要性をミニマイズする考え方があり、かかる考え方は場合によつては米軍部の考え方と平そくがあわないこととなりかねないがとただしたのに対し) 極東情勢の見とおしについては自分も同感である。しかし、かかる日本側の考え方の表には日本が米国の核のかさの下にあるという事実が潜んでいることも無視できない重要な側面ではなからうか。日本国民が核のかさの下にあることを意識的にせよ無意識的にせよある程度当然視することは自分としてはかまわないと思つている。物事になれつ子になつてしまつたことにつき論理的にああだ、こうだと説明してもし方がないからである。しかし、防衛のかさをひろげている方にも言い分が全然ないとはいきれないのであつて、そこいらへんに今後の両行政府当局間の交渉の難しさがあるのではなからうか。オキナワ返かん問題に対する米上院の態度については心配する必要はない。日本と米国の行政当局が真面目に話合つたことについて上院としてはクチをつける立場にないからである。強いて懸念するとすれば、オガサハラ返かんの際のスリバチヤマの問題は幸いにして紛きゆうしそうでどうということもなか

外務省 (Z)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

つたが、オキナフの場合に同種の問題が潜んでおり、返か  
ん問題が日本国内で感<sup>情</sup>的に過激化し、如何にも無理無体な  
動きとして報道されるとそれを受けて当地でも一部保守議  
員が動く余地があるというようなことである。  
ニューヨークに転報ありたい。

(3)